

2024年4月7日（日）第二礼拝「ノアの失敗と子ども達」創世記9章18～27節

大洪水の後、箱舟から出てきたノアはぶどう畑を作り始めました。しかし、ノアはそのぶどう酒を飲んで酔い、天幕の中で裸になってしまいます。そんな父の姿を見た息子ハムは兄弟たちに知らせました。この一件でハムの息子は呪われ、セムとヤペテは祝福されました。

第一番目、ノアの失敗です。「ノアは…裸になっていた。」（創世記9：21）この「裸」とは聖書では性的な行為を表現する時に使われます。百年かけて箱舟を造り、全世界の滅びから救われたノアでしたが、その後恥ずかしい姿を子どもたちに見せてしまいました。聖書には、信仰の英雄としてのノアの生き様とは裏腹に、彼の失敗談も生々しく書かれています。この話から、ノアが完璧だったからではなく、ただ主の恵みにより救われたのだと分かります。

「ノアは、主の心にながっていた（創世記6：8）」はKJV訳聖書では「ノアは神様の目の中に愛を見た」と書かれています。ノアの箱舟には瀝青^{れきせい}が塗られていました。瀝青^{れきせい}はイエス様の血潮と聖霊の働きを意味し、この世の価値観から守ってくださることを表しています。

第二番目、ハムの失敗とカナン^{カナン}の呪いです。カナン^{カナン}の父ハムはノアの裸を見て他の兄弟に知らせました。この「見る」という言葉はじっくり観察する、注目することを意味します。ハムは息子カナンとノアの裸をじっくり観察して一種の快感を覚えました。父親への反発心から、ハムは自分の上に立てられた権威者である父親の恥を見て、これを好機にとり、他の兄弟たちに言いふらしてしまいました。このハムの子孫はカナン、プシュ、ニムロデと続きます。自分が神になろうとしたニムロデは最初の権力者となってバベルの塔を築きました。神様から呪いを受けたハムの子孫は聖霊との関係を絶ってしまったのです。聖霊は罪を犯さないように導いてくださいますが、聖霊が無いと罪を悟ることも、罪を犯した時に良心の咎めを感じることもありません。神様は「エジプトの地…カナンの地のならわしもまねてはならない。彼らの風習に従って歩んではならない（レビ記18：3）」と言われました。ハムの子孫であるエジプトとカナンの風習は、肉親を犯すことや同性愛、獣姦でした（レビ記18：6～）。ハムの子孫はここまで罪に落ちてしまったのです。

第三番目、セムとヤペテの祝福です。彼らは後ろ向きに歩き、父の裸を着物で覆い、父の裸を見ませんでした。ノアはこの2人の息子を祝福しました。「ほめたたえよ。セムの神、主を。…神がヤペテを広げ、セムの天幕に住まわせるように。」（創世記9：25～27）セムの子孫のダビデは自分を迫害し殺そうとした主人サウルに対して、「油注がれた方に手を出さない」と言って自ら復讐をせず、その恥を覆ってあげました。ダビデの子孫であるイエス様は十字架を通して私たちの罪を覆ってくださいました。セムの神様は覆ってくださる神様であり、セムの天幕はイエス・キリストご自身です。神様の憐みにより十字架の血潮と聖霊の油で覆われる時、この世に勝利する力となります。イエス様の祝福の覆いの中で聖霊によりヤペテは広がることができました。私たちもまた自分の父や母の恥を覆ってあげることが大切です。そうすると、私たちの魂が恵まれ、全てが恵まれ、健やかになるのです。アーメン！